

豊里



ペダルなし自転車を楽しんで

「豊里地区市民大運動会」(豊里町コミュニティ推進協議会主催、佐々木信義会長)は9月3日、豊里総合運動場で開かれ、20地区から約1250人が参加し、さわやかな汗を流しました。

運動会は、地区民の交流を深めることと、健康・体力づくりが目的。今年は、地面を蹴って進むペダルなし二輪車「ランニングバイク」の体験会も実施され、初めて乗る子どもたちは戸惑いながらも楽しんでいました。

児童と住民が事故防止パレード

「交通安全街頭パレード」(佐沼地区交通安全協会米岡支部主催)は9月22日、米山町旧ムラコー商店前から米山体育館までの区間で行われ、米岡小学校交通安全少年団金管バンドと地元住民が交通事故防止をPRしました。

パレードは、地域住民と児童の交通安全に対する意識を一層高めることが目的。セレモニーでは、団長の伊藤夢生君と副団長の狩野大樹君が、交通事故防止に向けて誓いの言葉を述べました。



米山

石越



雄大な自然に触れ秋を楽しむ

「石越地区市民登山」は9月3日、仙台市の太白山で開かれ、地区住民など23人が参加し、登山を通じて親睦を深めました。

市民登山は、雄大な自然に触れながら難しい目的達成を通し、参加者の連携と仲間づくりが目的。同日は、すがすがしい青空が広がる登山日和の中、参加者同士声を掛け合いながら頂上を目指し、心地よい汗とともに達成感を共有しました。

地域一体となり子どもを育む

「放課後子ども教室」は9月11日、南方小学校で開かれ、南方小児童58人が参加し、体験活動をしました。

子ども教室は、地域民との交流を通して子どもたちを健やかに育むことが目的。来年2月まで、ニュースポーツ体験、昔の遊び体験や新聞ワークショップなど8回開催します。今回は、地元スポーツクラブ指導の下、複数チームに分かれ、キンボールを実施。子どもたちは、力と心を合わせ、さわやかな汗を流しました。



南方

津山



交通事故ゼロはみんなの願い

秋の交通安全街頭キャンペーン「矢羽作戦」は9月21日、道の駅津山「もくもくランド」で開かれ、交通安全協会津山支部会員や津山中生徒など、交通安全関係者40人がドライバーに交通事故防止を呼び掛けました。

矢羽作戦は、安全運転を心掛けてもらうことが目的。参加者は、交通安全メッセージ入りの津山産杉製ストラップなどを配布し、事故ゼロを呼び掛けました。受け取ったドライバーは、笑顔で安全運転を誓っていました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



日々の運動継続でロコモ予防

「第63回登米市はさま女性のつどい」は9月9日、迫公民館で開かれ、迫地区女性団体から約150人が参加し、ロコモ予防運動の知識を深めました。

同日は、日本レクリエーション協会公認指導者粕谷義昭氏を講師に迎え、骨と筋肉を鍛えて、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を防ぐ開眼片脚立ちやスクワットなどを実践。参加者は「簡単な動作なので、地域の集会などでも広めたい」と話していました。

豪華絢爛 342年前の風流今も

342年の伝統を誇る「とよま秋まつり」は9月16、17日の両日、登米町市街地で開かれ、薪能、神楽大会や山車の行進など、さまざまな催しで盛り上がりました。

とよま秋まつりは、1675(延宝3)年から始まったとされている伝統行事。「山車総見審査会」には、歌舞伎の演目やアニメなど、各町内会手作りの山車9基が登場しました。町内は、おはやしの笛や太鼓の音色が響き渡り、大勢の見物客でにぎわいました。



登米

東和



交通死亡事故ゼロ 6500日達成

「交通死亡事故ゼロ6500日達成表彰」は10月3日、東和総合支所で開かれ、市交通安全対策協議会長と登米警察署長から米谷地域づくり推進協議会(秋葉茂雄会長)へ褒状が贈られました。

同地区は、1999年12月から交通死亡事故ゼロを継続しており、9月29日に6500日を達成。秋葉会長は「関係機関および地域の皆さんの交通安全活動のたまものです。今後も記録を伸ばしていきたい」と決意を語りました。

3者合同防災訓練で連携強化

「蓬原地区3者合同総合防災訓練」は9月14日、中田中学校で実施され、同校生徒、さくら幼稚園児や地区住民が参加し、災害時に取るべき行動を確認しました。

防災訓練は、参加者の防災意識の向上と連携強化が目的。市消防署などの指導の下、消火訓練、煙道通過体験や炊き出し訓練を実施しました。沼倉義幸蓬原区長は「これからもこのような訓練を続け、生徒や園児たちと地区住民の交流も深めていきたい」と話していました。



中田